



DCT 通信 vol.12

血糖値に配慮した治療計画

糖尿病の方が歯科治療を受けるときは感染リスクの低減や治療後の傷の治りを悪くさせない様に HbA1c（ヘモグロビンエイワンシー）や血糖値が安定しているタイミングで行う事が望ましいです。

特に治療時に麻酔を使用する場合や歯周病治療（歯石取り）抜歯など出血を伴う処置を行なう場合、事前に抗生剤の服用が必要な場合もあり、担当の歯科医師が主治医と連携しながら治療計画を立てる必要があります。

治療前に確認したい項目

血糖値や HbA1c の数値

麻酔や投薬への影響、
傷の治り方にかかわるため



インスリン注射や薬剤

治療中の低血糖リスクを
回避するため



心臓や腎臓などの状態

全身管理の必要性に
直結するため



糖尿病であることを必ず歯科医師に伝え

糖尿病手帳やお薬手帳があれば持参しましょう！



糖尿病の口腔内の関係についてご不明な点があれば、

歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。（2026/8 月作成）